

富士河口湖町立 教育センターだより

No.20



平成27年3月18日 文責 高尾久美子

一年間、ありがとうございました。

3月13日（金）に行われた第2回運営協議会をもって、教育センターの大きな事業は終わりました。

センターも設立10年目となり、その役割はいつそう大きくなってきています。各学校間（保・小・中）を繋ぐ役割、現場と教育委員会を繋ぐ役割、教育情報の収集、集団の中でうまくやっていけない児童生徒のケア、代替教員の役割等、様々です。今日の会議に参加された先生方からも「センターは、なくてはならない存在だ。」というお話をいただきました。PTAの保護者の方からは、「子どもたちが教育を受けるにあたって先生方がこんなにも一生懸命考えていてくれるんだなということが分かった。」というお話も出ました。

今年度は、既存の事業の充実発展に加え、数々の新たな事業に取り組むことができました。特に教育機器に関する研修会を度々設け、電子黒板の導入により、子どもたちにより分かりやすい授業が提供できたことは大きな効果がありました。来年度は、全ての先生方が機器を手軽に使えるための研修会や、学習ソフトの準備など現場に生かせる研修会の実施を考えています。

また、富士山学習研究会では、臨地研修を増やし、先生方の学習を充実させてきました。まずは、先生方が学ぶことで子どもたちに還元することができます。来年度も引き続き行いたいと思います。

そして、相談業務ではセンターに訪れた子どもの居場所づくりと、各学校と連携を取りながら一人ひとりの将来を見据えた対応に力を注いできました。全ての子どもたちに明るい未来は見えてきています。そして、もう一つの業務である代替職員派遣ですが、各学校からの要請は、現在まで178回、そのうち実際に派遣できたのは、141回です。学校が忙しくなると同時に代替派遣も今後益々忙しくなっていくと思います。

センターは、先生方、保護者の方々、子どもたちのことを考え運営しています。今年度も一年間無事終えることができましたのも、皆さま、各関係機関の方々のおかげだと思っています。ありがとうございました。

これからも富士河口湖町の教育にかかわる機関として、その責務を果たしていきたいと思っています。



教育センター移転

来年度より、教育センターが富士河口湖町中央公民館内に移転します。工事の関係で日程はまだ確定していませんが、4月始めの移転を予定しています。相談業務・代替派遣・各種研修会等、今まで以上に充実させたいと考えています。何より教育委員会との連携を深め町内の子どもたちの健やかな成長のために頑張りたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。